

運動と連帯して

京都の
軍事拠点化を
許さない

弾薬庫増設に反対する
「10・19祝園全国集会」には2700人が参加。



「米軍基地いらんちゃフェスタ2025」には
450人が参加(25年11月9日)

外国領土を直接攻撃できるミサイルを保有するための弾薬庫が、全国で130棟も新設されますが、そのうち1割を超える17棟(舞鶴3棟、祝園14棟)が京都で計画され、祝園では8棟分がすでに着工しています。京丹後市のXバンドレーダー基地におけるミサイル防衛と敵基地攻撃を一体に行う統合防空ミサイル防衛(IAMD)と合わせて、京都が先制攻撃の出撃拠点にされようとしており絶対に許してはなりません。

▶ 京都で進む大軍拡を当然視する知事



府議団

この動きを容認してはいけない

知事

疑問や不安を解消するよう丁寧な対応を求めている



▶ 高市発言の撤回求めよ



府議団

『台湾有事は存立危機事態になりうる』との首相発言は、日中関係に重大な影響。撤回を求めるべき

知事

(首相が)従来の見解と変わるものではないと発言されている



12月府議会代表質問(25年12月4日)より

北陸新幹線延伸
中止の決断を

政府・与党は、北陸新幹線延伸の見直しの議論に決着がつかないとして、2026年度中の着工を見送りました。京都仏教会は5万筆の署名を京都府に提出し、その他に住民運動団体なども約5万筆を提出しています。この世論にこたえて北陸新幹線延伸計画中止の決断をすべきです。

物価高騰を上回る緊急の生活応援策を
消費税減税、インボイス廃止

高市内閣は消費税減税には財源がないという一方で、今年の補正予算では何の財源の裏付けもないまま8472億円もの軍事費を計上しました。社会保障の4兆円削減も議論されています。アメリカに言われるがまま軍事費を拡大させ続ける高市自民・維新政権のままだと、将来の大幅な増税と社会保障の改悪は避けられません。

